

通し番号	4767
------	------

分類番号	27-2B-12-03
------	-------------

「生食・サラダ用」ナス品種では「サラダ紫」が優れています	
[要約] 「サラダ紫」、'ごちそうナス'、'サラダ茄子'、'美男'及び'さしみサラダ茄子'は多汁質な品種である。官能評価及び収穫調査の結果から、「サラダ紫」が供試品種の中で最も「甘み」を強く感じ、多収で優れる。	
神奈川県農業技術センター・生産技術部野菜作物研究課	連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

本県では、生食用ナス品種として「サラダ紫」を育成し、横須賀市を中心に県内全域で栽培されている。近年、民間種苗会社からも加熱調理用や漬物用ナス品種に加えて「生食・サラダ用」を目的とする品種が多数市販されている。そこで、生食・サラダ用とされる品種を露地夏秋どり栽培において比較し、優良品種を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1 官能評価項目「甘み」について、「サラダ紫」と「ごちそうナス」が同等で、「美男」、「さしみサラダ茄子」は低い傾向で、「サラダ茄子」、「万寿満」及び「千両二号」は有意に低い値である（表1）。
- 2 「サラダ紫」、「ごちそうナス」、「サラダ茄子」、「美男」及び「さしみサラダ茄子」は果実密度及び果汁指数が高く、「万寿満」及び「千両二号」と比べて多汁質な品種である（表2）。
- 3 それぞれの品種の株あたり上果収量は、「サラダ紫」が10.8kg/株で多汁質なナス品種の中で最も多収である（表3）。
- 4 生食での官能評価のうち「甘み」が高く、多汁性で多収であることから、生食用ナスとして「サラダ紫」が優れる。

[成果の活用面・留意点]

- 1 供試品種は7品種。「千両二号」は「生食・サラダ用」ではない一般的なナス品種である。
- 2 本試験は夏秋どり栽培の結果である。
- 3 「サラダ紫」は、常に十分な土壌水分を確保する栽培方法が望ましい。

[具体的データ]

表1 比較法による生食での官能評価結果^z

品種	甘み	えぐみ	柔らかさ	多汁性
サラダ紫	0.0	0.0	0.0	0.0
ごちそうナス	0.0	-0.1	0.2	-0.1
サラダ茄子	-1.0 ** ^y	0.4	0.0	-0.2
美男	-0.7	0.1	0.5	-0.5
さしみサラダ茄子	-0.7	0.2	0.3	-0.3
万寿満	-1.3 ***	0.3	-0.9	-1.7 ***
千両2号	-1.4 ***	0.3	-0.9	-1.2 **

z: 2015年9月14、15日に実施。‘サラダ紫’を基準(0)とし、-2(弱い)~2(強い)の平均値(n=12)

y: 同一列で**、***は‘サラダ紫’に対してそれぞれP<0.01、0.001水準で有意差あり(Dunnettの検定)

表2 物性測定値^z

品種	果実密度 (g/cm ³)	果汁指数 ^x (%)
サラダ紫	0.85 a ^y	38.1 a ^w
ごちそうナス	0.82 ab	43.8 a
サラダ茄子	0.84 ab	41.2 a
美男	0.76 bc	55.2 a
さしみサラダ茄子	0.76 bc	52.2 a
万寿満	0.68 c	7.9 b
千両二号	0.70 c	9.9 b

z: 分析には2015年8月11日に収穫した果実を供試した、y: 各列において異なる文字間にP<0.05水準で有意差あり(Tukey-KramerのHSD検定)、x: 輪切り片圧縮後の漏出果汁重量÷圧縮前の輪切り片重量×100、w: アークサイン変換後にTukey-KramerのHSD検定を行った

表3 収穫調査結果及び物性測定値^z

品種	収穫果数 (個/株)	平均果重 ^y (g)	上果率 (重量%)	上果収量 (kg/株)
サラダ紫	132	129	63.4	10.8
ごちそうナス	172	81	68.8	9.5
サラダ茄子	100	142	64.9	9.3
美男	110	109	66.0	7.9
さしみサラダ茄子	126	109	64.2	8.8
万寿満	102	146	77.2	11.5
千両二号	135	107	76.2	11.0

z: 収穫調査は2015年6月24日から10月30日に実施。果実調査は2015年8月11日及び17日に収穫した果実を供試した、y: 果実は各種苗会社等が収穫適期とする重量の範囲で収穫した

- [資料名] 平成27年度試験研究成績書(生産技術部野菜作物研究課)
 [研究課題名] 生食用ナス品種の特性検定
 [研究期間] 平成27年度
 [研究者担当名] 小泉明嗣・上西愛子・吉田誠
 [協力・分担関係] 生産環境部